

市議会だより

2025年11月

第31号

新見市議会広報紙 9月定例会



目次

- ② 議会モニターについて
- ③ 各委員会報告
- ⑧ 賛否が分かれた議案等
- ⑨ 一般質問（個人質問）
- ⑯ 市民の声・編集後記
- 12月定例会（予定）



自然を活かし「のびのび」「活き活き」保育

議会が変われば まちが変わる

特集



より開かれた議会へ「議会モニター」4人を委嘱

新見市議会の「議会モニター」制度が10月1日からスタートしました。議会モニターは、議会・議会活動について、広く市民の意見を聴き、議会運営に反映させる制度で、岡山県内の自治体議会では早島町に次いで2番目、15市では初めての発足となりました。

モニターの委嘱式では、藤澤正則議長が一人ひとりに委嘱状を手渡し、「モニターに応募いただきお礼申し上げます。本市議会の課題や運営、議会だよりなどの広報に率直な意見を賜り、それを活かしより良い議会を目指したい。このモニター制度は議会改革の一つであり、今後、若者議会も計画するなど、一層、開かれた議会づくりに努めます」とあいさつしました。

議会モニターにインタビュー

●阿部 拓さん（新見）

「Uターンし、新見市の将来がどうなるか興味を持った。議会で何をしているのかよくわからない、市民が分かる形を考えたい」

●小川 美紀さん（西方）

「初めての試みで、誰にでもできると思った。議会の印象は閉ざされていると感じました。少しでも内容が分かれば、と思い活動します」

●高田 康平さん（足立）

「人口減少が著しく、市外から人を呼ぶ必要がある。県外出身者なのでその目線が役立つと思う。新見の魅力を外へ伝えたい」

●逸見 孝明さん（哲多町蚊家）

「議会と市民の距離が遠く、議会の内容も分かりにくい。かみくだいて分かりやすい表現で広く発信したい」

モニターの活動

- ①議会や委員会を傍聴し、議会運営への意見提案を行う
- ②議会だより、市議会ホームページなどに関する感想意見や提案を行う
- ③議会が行うアンケート調査に回答する
- ④年2回程度の議員との意見交換会に出席する

各委員会報告

防会 新郷、萬歳、新砥
消員 の3市民センター
務委 と足立連絡所の窓
総常 口業務を郵便局に
委託

9月10日に本委員会を開き、条例2件、議案3件の審査を行いました。

付託事件の審査

【議案の部】

●条例第35号 新見市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

●条例第36号 新見市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

●議案第8号 新見市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について

本議案は、令和8年4月より予定している新郷市民センター、萬歳市民センター、新砥市民センター、足立連絡所の窓口業務をそれぞれの地域

の郵便局に委託するものです。

委員問 業務が郵便局に移った後、市民センターはどう活用するのか。

答弁 建物は、公民館等として使用していただく。管理については、現在調整している。

委員問 郵便局への委託料の内容はどのようになっていくのか。

答弁 初期導入費用が2万円。固定費が1万円。実績に応じて（従量費）、毎月の取扱い件数1件当たり300円。手数料として固定費、従量費の20%となっている。

委員問 住民への説明については、十分できているか。

答弁 概ね、了解をいただいたと考えている。

●議案第9号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

●議案第10号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

執行部の説明を聴き、質疑の結果、反対討論はなく、全会一致で原案のとおり可決しました。

報告事項について

●情報政策課：ラストワンマイル事業について

本事業は、平成20年からサービスを開始し、通信事業はソフトバンク(株)、放送事業は(株)吉備ケーブルテレビとIR

U契約を締結している。契約は令和9年度末まで。令和10年度からは、国の補助金を活用しながら、次の通信事業者と放送事業者を決定したいと考えている。補助金は、現在のサービスより高度なサービスが条件になるため、現在の通信速度1ギガから10ギガのサービスも選択できるようにしたい。

委員問 新しい通信事業者になった場合、告知放送のルーターはすべて交換するようになるのか。

答弁 すべて交換になる。

委員問 告知放送の設置が困難な場合の対応はどうするか。

答弁 スマホのアプリなどで対応したい。高齢者世帯への対応は今後協議していきたい。

委員問 防災の観点についてはどうか。

答弁 今後のプロポーザル次第だが、防災の観点からも検討していく余地があると考えている。



新消防庁舎視察の様子

●消防本部総務課：市制20周年記念消防フェア2025の開催について
11月8日(土)に、消防フェアを開催する予定。1日消防署長の委嘱や消防職員による公開訓練、緊急車両や消防資機材等の展示を行う。また、放水や煙中歩行などの体験コーナー、紙芝居の上演、新見ウインドアンサンブルによる演奏も予定している。

社会福祉委員会 教務常任委員会

中学校の部活、学力学習状況調査結果に質疑集中

9月11日に本委員会を開き、付託の5議案の審査を行い、同19日の本委員会では、委員会発議の県への「買い物困難地域の包括的支援策を求める意見書」（案）、国への「持続可能な民生委員・児童委員制度を求める意見書」（案）を全会一致で議決しました。

付託事件の審査

【議案の部】

- 条例第37号 新見市地域づくりセンター条例の一部を改正する条例
- 条例第38号 新見市ひとり親家庭等医療費給付に関する条例の一部を改正する条例
- 条例第39号 新見市集会施設条例の一部を改正する条例
- 議案第11号 公立大学法人新見公立大学の中期目標（第4期）について
- 議案第12号 公立大学法人

新見公立大学の定款の変更に ついて

執行部の説明を聴き、質疑の結果、反対討論はなく、全会一致で原案のとおり可決しました。

なお、議案第11号の質疑で、委員が「剰余金の考え方」の説明を求め、執行部は「剰余金は、大学の努力によって生じたものがあり、それは大学で活用する。大学運営交付金は地方交付税で、国に繰越申請の必要はない」と答弁しました。

報告事項について

● 生涯学習課：新見市部活動地域展開推進事業補助金について

休日部の部活動地域展開で、受入団体の活動経費一部助成の制度新設について、対象団体や補助金額と、剣道をモデルに実施検証していきたい、との説明を受けました。

委員の「生徒送迎の公費負担」「部活動とスポーツ少年団が一緒に活動することは」との問いに対し、執行部は「送

迎は剣道で実証研究し議論したい」「スポーツとの活動も想定され柔軟に対応したい」と答弁しました。

● 学校教育課：令和7年度全国学力学習状況調査結果について

4月17日、小6、中3を対象に国語、算数数学、理科の学力調査があり、すべての教科で全国平均を下回った。学習時間が不足し、学習内容の定着が不十分と推測している。今後、補充学習とともに「授業の質向上」「学習内容の確実な定着」「学習規律の徹底」を強化したい、と説明があった。



委員の「家庭での学習時間」や「つまずきの改善策」の問いに対し、執行部は「全国平均を下回っている家庭学習時間」や「定期考査の復活、弾力的な補充学習を進める」と答弁しました。

調査事件について

委員問 全国的な課題の民生・児童委員のなり手不足について、本市の現状と課題を聞きたい。

答弁 無報酬のみなし公務員で、活動費を支給している。定年延長で働く人が増え、仕事との両立が難しく高年齢化し推薦選考に苦慮している。

現場の声等を踏まえ、国への意見書を委員会発議すること、6月議会の決議を元に、買い物困難地域の支援でも県への意見書発議を決めました。



建設委員会 産業常任委員会

農業用水の渇水対策補助事業を創設

9月12日に本委員会を開催しました。本委員会に付託された議案はなく、執行部からの報告事項を審査しました。

報告事項について

●「令和7年度新見市水利施設管理強化事業」が創設される

農業用水確保のため利用したポンプや発電機などの借上げ経費・燃料費・委託費が対象であり補助率は80%（50%は国補、30%は本市負担）である。

対象期間は8月1日から9月30日までで、申請締め切りは11月末となっている。

委員意見 対象期間について

て渇水は7月から始まっているので国の補助があるなしは別にして市独自の「渇水対策補助事業交付要綱」を早期に

作成して対応すべきではないか。

●「第18回新見市畜産共進会」が開催された

8月27日、下熊谷の肉用牛指導センターにおいて開催され、最高位のブランドチャンピオンには新見高校出品の若雌が選出された。また、10月11日開催の「第80回岡山県畜産共進会」に出品する12頭の選抜も行われた。

●東京の大田市場において市長がトップセールスを行った。有名果物店や海外市場に輸出を扱う市場関係者に対して9月13日、JA晴れの国岡山新見どうぶつ部会と共に新見産ピオーネの品質の良さと産地の元気をPRした。



大田市場で取引されるピオーネ

●令和7年度産米の概算金（仮渡金価格）が発表された

8月29日にJA晴れの国岡山が本年度産コシヒカリ1等米60^{kg}を3万円とし前年より9900円高であった。他の銘柄米においても軒並み高値となった。新見産ヒメノモチ1等米については3万3千円とした。

●その他

次のとおり各種イベントが開催された。

①9月1日から9月30日までの1か月間、東京都の「千代田グルメショッピングプラズA」にて、本市を特集するマンスリーフェアが開催された。首都圏における「A級グルメと新見市特産品PR事業」として千屋牛、日本酒、ピオーネ、キヤビア、ワイン、紅茶などを販売するコーナーや、これらの食材を使ったランチを提供した。

②10月11日、新見駅周辺の賑わい創出の一環として「リバーサイドバー」が新見駅前の高梁川親水公園で開

催された。



にぎわうリバーサイドバーにいみ 2025

③10月15日、本市の重要無形民俗文化財の「土下座祭り・御神幸武器行列」が厳かに執り行われた。

④10月19日、「第37回神郷ふるさと祭り」が日本一親子孫水車や紙の館を会場として賑やかに開催された。

⑤10月25日、「FAN2025」が新見のまつり実行委員会の主催で憩いとふれあいの公園を会場に繰り広げられた。

予算決算 常任委員会

持続的な地域医療に向け附帯決議を 付す

予算決算常任委員会を9月16日、17日に開催しました。

16日は、令和6年度の一般会計決算及び特別会計決算8件を審査しました。十分な質疑を行った結果、反対の討論はなく、全会一致で決算に係る9議案を原案のとおり認定しました。

続く17日は、令和7年度の9月補正予算を審査しました。この内、予算第24号（令和7年度新見市一般会計補正予算）について、4郵便局（足立、新郷、新砥、万歳）への行政事務委託に関する経費の予算計上に反対するとの討論発言がありました。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

また、予算第25号（令和7年度新見市診療所特別会計補正予算）については、公設国際貢献大学校メディカルクリニックへの管理委託料1982万円追加をめぐり、医療受診者の大幅な減少で生じた経

営上の損失を補う予算措置となることから、持続可能な医療体制の構築に向けて専門家を交えた経営診断に基づく経営改善計画の提示と、今後の根本的な運営見直しを求める附帯決議を付すことを全会一致で決定しました。

なお、会期末日の26日は、西方で進めているヘリポート整備事業において、地質調査の結果、土質が柔らかすぎるため、近隣の別工事の埋め戻し土に利用できないことから生じた、残土運搬費用3300万円の追加議案が上程されました。

慎重に審査し、全会一致で可決しました。（写真：ドクターヘリ）



16日 決算審査の主な質疑

●決算第1号 令和6年度新見市一般会計歳入歳出決算

【委員問】 年間多額の委託料がかかっているラストワンマイル事業の今後の方向性は。

【答弁】 ラストワンマイル事業には、毎年約3億円程度がかかっている。国においては令和3年に公設公営の光ファイバーを民間に移行できるガイドラインを策定、令和4年度からそのための補助金も出ている。本市も経費削減のため、補助金を申請し、民間への譲渡の方向で協議を進めている。

【委員問】 高校の魅力化につなげるための高校オリジナル商品等開発事業交付金の実績は。

【答弁】 オリジナル商品の開発に取り組んでいるが、商品化して販売に至ることが高校の魅力アップにも繋がるので、しっかりと検討していきたい。

【委員問】 駅西サテライトへの経費はこれまでどおりか。活動実績は。また、周辺の高齢者等が気軽に使用できるようになっているか。

【答弁】 経費はこれまでどおり、1800万円。昨年度の利用状況は、1万1465人。

前年度比、プラス1293人で少しずつ増加している。基本的には市内のどなたでも利用できるもので、広報に努めた。

【委員問】 ふるさと納税の歳入歳出は。

【答弁】 歳入は、1億5189万円。歳出は、経費を歳入の5割以内に抑えるルールに則り、人件費等も含め、本市では概ね42%に収まっている。

【委員問】 お試し暮らし支援事業や新見で子育て体験事業の移住実績は。また、新見への移住をどうPRするのか。

【答弁】 移住実績は4世帯6人だが、様々なサポートや複数の支援事業が影響していると考えられる。令和6年度から取り組んでいる新見で子育て体験事業への応募は1家族で、今後PRに努めていきたい。また、今後、都市部からの移住者のニーズをしっかりと把握し、関連部署としっかり連携を図っていくよう考えたい。

委員問 観光協会への補助金は必要か。市の委託に頼らない運営が求められるのでは。

答弁 現状では、市の補助金や委託事業がないと、運営が厳しい状況である。今後、市の観光振興を図っていく上でも、強化していくよう努めたい。

17日 補正予算審査の主な質疑
● 予算第24号 令和7年度新見市一般会計補正予算

委員問 4郵便局（足立、新郷、新砥、万歳）への行政事務委託をなぜするのか。

答弁 地域住民への説明会では概ね了解を得た。住民の利便性向上と行政経費削減、また、郵便局の思いも含め進めていきたい。

委員問 今後の移住交流センターの運営の在り方は。

答弁 新見駅前で、直営で行う。なお、今まで足りていないと思われる地域の紹介等きめ細やかな支援を考えているので、業務の一部を委託したいと考えている。

委員問 今後の停留所設置

の在り方をどう考えるか。

答弁 バス停は、運行事業者が設置するのが基本だが、乗り合いタクシーを実施する中で、今後、結節点も変わってくると思われるので、市民の利便性向上のため、バス停設置については、運行事業者と柔軟に協議していきたい。



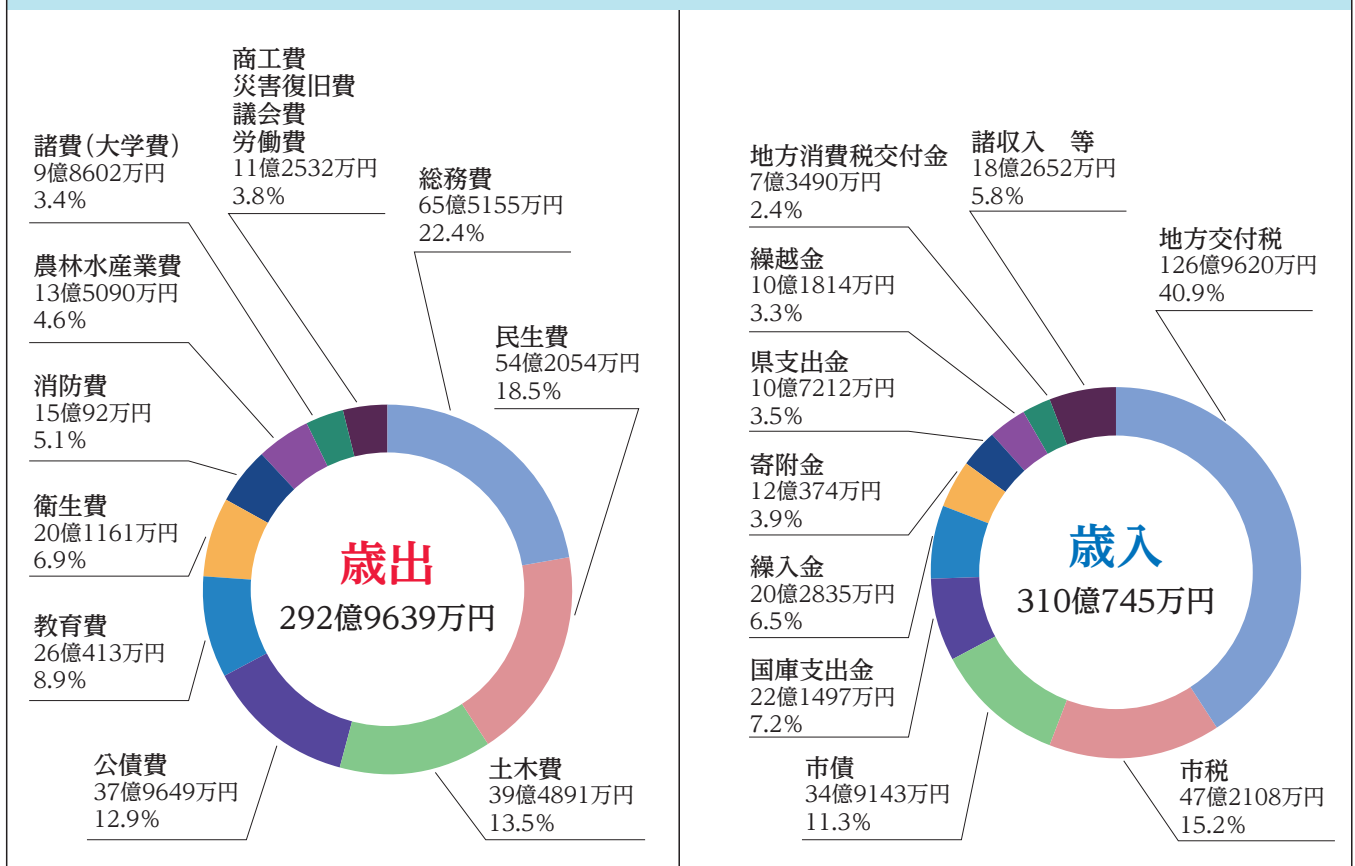
市役所南庁舎前のバス停

● 予算第25号 令和7年度新見市診療所特別会計補正予算

委員問 国際貢献大学校メディカルクリニックへの1982万円の追加補正の原因は。

答弁 受診者数及び分娩取り扱い件数が指定管理料の積算基準より大幅に減少したためである。地域医療の充実やクリニックの継続をお願いしたので市の負担が必要と考えた。

形式収支は17億1106万円の黒字になりました。



国・県に意見書を提出



発議第12号 「買い物困難地域の包括的支援策を求める意見書」

【要望事項】

- ①各自治体の買い物に係る住民と地域のニーズ及び支援に繋がる資源の調査を支援すること
- ②各自治体・地域の買い物困難地域解消に向けた地域計画策定を支援すること
- ③地域の実情に応じた支援策を提供するため、隣県に事例のある買い物環境確保に向け、本県にふさわしい総合的な支援策を構築すること
- ④特に、地域無店舗を解消するため、地域による店舗開設運営を支援する交付金制度を創設すること

発議第13号 「持続可能な『民生委員・児童委員制度』を求める意見書」

【要望事項】

- ①広がる一方の民生委員・児童委員の活動範囲を見直すこと。また、民生委員と児童委員の役割についても負担軽減を図るよう検討すること
- ②民生委員・児童委員の地域等での「充て職」を制限するため、国において法律への明記や通達の発出など必要な措置を講ずること
- ③企業が民生委員・児童委員を送り出しやすくするため、税の軽減や補助金制度を創設すること。また、「民生委員・児童委員協力事業所」の標章制度を新設すること
- ④無報酬ボランティア、活動費支給という現行制度に対し、有償ボランティアの考え方や活動費増額を検討するなど、実態に即した制度に改正すること

議員研修会を実施!!

9月29日(月)に議員の資質向上を図るため、研修会を実施しました。

研修内容は、次のとおり

■ テーマ「自治体議会の存在理由と課題」

■ 講 師 妹尾 克敏氏

※松山大学名誉教授

(元松山大学法学部長)



議場で行われた議員研修会の様子

●賛否が分かれた議案等

種類	件名	付託先	結果	議員名														
				赤木三郎	橋本尚典	堀江裕	谷本浩章	木下智義	林司朗	峠田一也	仲田芳人	古川英明	宮本英基	小河俊文	津島大孝	橋本亨子	岡崎裕生	
予算	令和7年度新見市一般会計補正予算(第5号)	予算決算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
議案	新見市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	総務消防	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席。議長は採決に加わりません。

その他の議案については、全会一致で可決、認定、同意しました。
審議された全ての議案については、右の二次元コードからご覧ください。



9月
定例会

一般質問



(議員紹介)

無所属

津島 大孝



市営の遺体安置施設設置を

問 市営斎場に市営の遺体安置施設を設置できないか。

答 市内葬儀社のニーズなどを確認し、遺族の費用負担軽減も含めて調査研究する。

を 遠距離通勤の市民に支援金

問 遠距離通勤の市民に対して通勤者定住支援金を再制度化できないか。例えば、市内外で通勤距離が30キロ以上、年齢が55歳まで、月2〜3千

円相当のーみんポイントの支援。

答 条件を緩和すると予算が高額になる、通勤者への支援の効果は低いと考えられるため、再制度化はしない。

病院の集約と産科設置を

問 市中心地にある病院や医院を一つの建物に集約して集合病院として、そこに



に市営の産科を設置できないか。

答 複数の民間医療機関が統合に向けて協議しているのは承知している。助言をしながら動向を注視している。

県内の8割の病院が赤字であり、産科を専攻しない学生も増えてきているため、産科の設置は難しい。

無所属みんなのにいみ

仲田 芳人



人前結婚式は観光誘客促進に繋がる

問 市内の観光施設等を舞台に人前結婚式を企画し、カップルを募集してはどうか。

答 人前結婚式は、各施設の魅力発信やイメージアップなど誘客に繋がる。今後、観光振興を図る上での参考にした



羅生門フォトコン優秀賞の
田原美和さんの作品

奨学金増額とUターンで返済減免求める

問 家賃上昇や物価高騰などを踏まえ、大学生への奨学金貸付額を増額してはどうか。また卒業後、Uターンして市内就職すると、返済を減免する制度に改善できないか。

答 貸与額を増額すると、将来の返還額が増大するので、慎重に検討したい。また、奨学金の返還特典は、奨学金制度を通じて若者の地元定着を促進し、地域経済の活性化を図るもので、重要な視点と認識している。地域課題解決に寄与する可能性があり、調査研究の価値がある。

負担軽減へ「簡易給水事業補助金交付要綱」見直す

問 周辺部は急速な人口の高齢化と戸数減少に見舞われ、老朽化した飲料水供給施設の修繕維持の負担が増え

ている。簡易給水事業補助金交付要綱を見直し、補助額増額はできないか。

答 1戸当たりの負担額が増大することは認識しており、市民負担軽減のため、この補助金交付要綱の見直しを検討したい。

緊急通報システム導入の制度設計を進める

問 気温上昇に伴う健康リスク、高齢人口増加とともに独居高齢者の増大を踏まえ、自宅周りで急病や不慮の事故の際、助けを求めることができる緊急通報システムを早期導入できないか。

答 これから増加が予測される独居高齢者等の問題に対応できる装置の一つと考えている。高齢者支援の体制充実を図り、安全安心の生活が送れるよう、デジタル技術を活用するなど、導入に向け制度設計を進めたい。

無所属
みやもと ひで
宮本英基



新見駅バリアフリー化の方向性決定

問 新見駅の南北自由通路の構造と総事業費は。

答 通路の南北にエレベーターと階段の整備と併せて、自由通路から伯備線ホームに接続し、専用改札、エレベーターを設置する。総事業費は概算で約30億円。既存の改札から姫新線、芸備線ホームに接続するスロープなどを含め、JRと交渉を進め、令和9年度までに協定を結ぶ予定。

問 新見駅南側のJR西日本の空き地の扱いは。

答 他の用地はJRの意向を踏まえ、活用などを調査研究する中で検討する。



新見駅バリアフリー化のイメージ図

乗合タクシー土日運行と時間延長・新見駅への乗入れ必要

問 乗合タクシーの運行体制と基本方針は。

答 新見北部・神郷・哲多・哲西・大佐・新見南西部で、月曜日から金曜日まで午前8時半から午後4時に車両16台で運行している。令和8年度までに計画の地域全域で運行予定。運行日や運行時間の拡大、新見駅などへの乗り入れは、全地域に導入後、検討する。

小中学校体育館にエアコン設置を

問 小中学校体育館にエアコンを設置できないか。

答 子どもたちの健康を守り、避難所機能を強化する上でも必要だと感じている。財源については、国の交付金や有利な起債を活用する。施設の状態・使用頻度・避難所機能を総合的に勘案し優先順位を設定した上で設置する。

データセンターを誘致すべき

問 本市としての国のデータセンター誘致施策の考えは。

答 誘致については、新たな産業の創出や投資が期待されるなど、有意義な取組であると考えている。

多くの条件をクリアする必要があるが、現段階では本市としての適性や可能性、課題について調査研究をしていく。

無所属 みんなのいみ
ふるかわ ひであき
古川 英明



毎週プラスチックの収集を

問 ごみ処理に年間どの程度の経費が必要か。併せて4月から始めたプラスチック収集から再資源化に至るまでの費用はいくらか。また、現在月2回の収集を毎週できないか。

答 ごみ処理全般の年間予算は、10億3278万円。年間110トを見込むプラスチックの収集から資源化に至る経費は、全体の6・5%に当たる6755万円。収集日を毎週にする件については、今後の収集量を注視するとともに、日程の調整や効果を調査したい。

児童の登下校時の熱中症対策充実を

問 避難所への避難は、夏場出水時が多いが、熱中症対策として、収容人数の多い市民体育館や学校体育館などへのエアコン設置が必要ではないか。また、児童の登下校における熱中症対策は十分か。

答 施設の状況や使用頻度等を考え、優先順位を決め、計画的に進めたい。児童の登下校時の対策としては、適切な水分補給、対策用品の活用など、現在の対策を維持するとともに、暑さ指数に基づく下校方法の新たな基準も視野に入れ検討していきたい。

市として新見高校のさらなる魅力化を

問 新見高校魅力化推進事業の成果と課題はどうか。少子高齢化や現在の進学率を考えたら、もっと思い切った魅力化に取り組むべきではないか。

答 資格取得助成事業、部活動専門人材派遣事業、留学支



新見高校（写真上）と進学を呼びかけるチラシ（写真右）



援事業は、生徒からの良い感想もあり、一定の成果があったと考えているが、申請件数が少ないのが課題である。来年度から高校への学校連携コーナーディネーターを配置する。また議員からの様々な提案についてもしっかりと協議し、効率が良い、結果が現れる施策に取り組んでいきたい。

無所属 みんなのいみ
はやし しろう
林 司朗



ヘリポートなど防災対策聞

問 南海トラフ巨大地震発生が心配されるなか、本市では防災棟が完成し、8月から運用を開始している。その災害対応能力と、備蓄品保管機能はどのようになっているか。

答 防災棟は震度6強の大地震に耐える。1階の床高は、55センチで100年に1回程度の豪雨でも床上浸水はない。停電時でも防災機能が維持できるように発電機を備え、3日間の連続運転が可能。備蓄品は、換気設備が整い、室温の監視ができるため、食料品や、衛生用品などを保管できる。

災害対応のヘリポート整

備について、進捗状況と今後の構想は。

答 孤立可能性のある集落の分布状況を調査し、アクセス道路や既設ヘリポートの位置関係などの情報収集を行った。今後の構想は、情報をもとに既設ヘリポートの活用も含め、孤立集落に対応できる最適な場所を模索していく。

問 夏季、猛暑時の中、冷房設備が無い避難所について、今後どのような冷房対策を行っていくのか。

答 扇風機、大型送風機を活用するとともに、今年度、購入した14台のスポットクーラー（左写真）で対応していく。

問 平常時にも活用できる大型の移動式エアコンの設置は。

答 100ボルトで使えるものは、冷やすエリアが限られてくる。大型のものは200ボルトが必要になる。このあたりも含め今後、検証する。



問 防犯対策支援事業のうち防犯カメラ設置補助金は防犯カメラ設置による個人・地域の安全に大きな効果を発揮している。同様に地域の中心にある公民館に安全安心のため、防犯カメラを設置できないか。

答 令和8、9年度で順次設置していく計画である。

問 防災に対する副市長の考えは。

答 情報収集をしっかりと行い、迅速な対応をしていきたい。

無所属

赤木三郎



生活保護・児童扶養手当の現状は

問 生活保護受給状況は。

答 8月末時点で102世帯、114人が受給している。

問 外国籍の人はいるのか。

答 外国籍の人はいない。

問 児童扶養手当の制度概要と受給状況は。

答 本手当は、ひとり親家庭において家庭生活の安定と自立の促進を図ることを目的として支給されるもの。条件によって支給額は異なる。全額支給の場合、児童1人当たり4万6690円。受給者数は8月末現在116名。

学校徴収金に補助を

問 市内小・中学校における学校徴収金の金額と種類は。

答 学年、学校によって違うが1カ月当たり小学校で約8千円、中学校で約1万1千円を徴収。種類は給食費、教材費、PTA会費、生徒会費など。

問 市内小・中学校での教材費の差は。

答 1カ月当たり、小学校で少ない学校で約1200円、多い学校で1500円になっている。中学校では少ない学校で約2000円、多い学校で2900円になっている。

問 教材費補助の考えは。

答 現在は検討していない。

問 市内中学校における修学旅行の行き先と費用について。

答 5校とも沖縄県。費用は少ない学校で8万8千円、多い学校で10万9千円である。

問 金額の差の要因は。

答 各校によって特色ある活動をしていることによる。

問 生徒数の違いによるバス代などの交通費の差があるのでは。

答 人数が違うので人数割りをした場合の差もあるが、活動の違いによるもの。

問 交通費補助の考えは。

答 低所得者世帯への就学援助を設けているので現時点では検討していない。

問 市内中学校の集金方法は。

答 5校とも口座振替を使用。

問 支払いの遅れがある家庭への対応は。

答 一定数あり学校職員が納付を促している。

問 集金の公会計化の予定は。

答 導入予定はない。費用対効果が限定的で教育委員会の体制整備も課題である。



「#7119」の本市の方針は

問 直近3年間の「夜間・休日」救急搬送人数と軽症率は。

答 令和4年が平日夜間306人、土曜79人、日曜祝日268人の計653人。うち軽症203人（31%）。同5年が平日夜間312人、土曜91人、日曜祝日271人の計674人。うち軽症229人（34%）。同6年が平日夜間323人、土曜84人・日曜祝日287人の計694人。うち軽症153人（22%）。適正利用がうかがえる水準である。

問 「にいま24時間安全安心相談ダイヤル」の相談件数、夜間割合、その内訳は。

答 件数は6年度455件。うち夜間（午後7時～午前8時）の割合は43・1%。内訳は健康39件、医療254件、介護38件、出産育児26件、医療機関情報60件、その他38件。医療・医療機関情報が半数超で、医療系相談が中心。

問 岡山市などで10月から始まった「#7119」の現状と考

えは。

答 現時点では、市内では#7119を利用できない。

本市が導入するまで、引き続き「にいま24時間安全安心相談ダイヤル」の利用を促進する。

問 本市は令和8年度からの参加を検討しているか。

答 令和8年度からの参加を前向きに検討している。導入

病院？ 救急車？ 迷ったら…

シャープ なな いち いち きゅう

#7119

つながらない時 086-222-7119

受付時間
平日 19時～翌朝8時
土曜日 18時～翌朝8時
日・祝・年末年始 朝8時～翌朝8時

岡山市 OKAYAMA CITY

令和7年10月1日スタート

#7119を宣伝するバナー（岡山市）

後は#7119に移行する方針で、現行の「にいま24時間安全安心相談ダイヤル」との併用は考えていない。

問 市民への案内や広報は。

答 丁寧でわかりやすい広報が必要だと思っている。市民に周知したい。

無所属 志政会
小河 俊文
こがわ とし ふみ



新見ふるさとまつりに花火大会の再開を

問 新見ふるさとまつりに対する市長の感想は。

答 多くの市民の思いを受け、6年ぶりに駅前通りで開催でき、大変嬉しく思う。想像を超える賑わいとなり、関係各団体や近隣住民の皆様に感謝申し上げたい。来年以降も市

民にとって、さらに魅力あるイベントに育てていきたい。

問 花火大会再開の考えは。

答 実行委員会での協議が必要である。開催には開催場所の選定等の課題がある。市として必要な支援を実行委員会と協議をしていきたい。



新見ふるさとまつりの様子（R7）

新見高校進学率向上への対策を

問 新見市高等学校生徒通学助成金を廃止した理由は、また再会する考えはあるか。

答 令和3年度から実施している。毎年300件前後の利用があったが、アンケート調査で、進学先の決め手になったとの答えが1割程度に留まり、高校魅力化の効果が限定的だと判断した。再開は考えていないが、別の形での支援を強化したい。

中心市街地整備の考えは

問 中心市街地への道の駅構想への市長の见解は。

答 市として道の駅の設置を検討したことは無い。今後民間で道の駅の構想が出れば、市としても積極的に関わっていききたい。

問 美術館の移転についての考えは。

答 美術館関係者と大学関係者の有識者による会議を立ち上げ、本年度と来年度で基本的な構想を練り上げる。

無所属

嵯田一也



森林整備に向け間伐補助

問 森林整備のために再造林は必要であると考えるが皆伐

後の見回りや監督指導は行っているか。

答 伐採後に提出される「伐採に係る森林の状況報告書」の受理後、現場の確認は必要に応じて行っている。再造林を行う場合、枝などを放置した状態では地拵えの費用がかさむので林業関係者で組織している「未来へつなぐ新見の林業会議」の中で注意喚起している。

問 伐採後の再造林を促進する中で間伐は欠かせない作業であるが、これに対して補助する考えはあるか。

答 伐採適齢期を迎えた森林が多く、伐採に4300万円再造林に1500万円補助している。一方で再造林率は27%、面積にして50%に留まっている。再造林には残材処理、地拵え、植栽、その後の下刈り、切り捨て間伐がある。この切り捨て間伐は将来の木材の価値を高めるほか、森林の持つ多目的機能を維持する上で重要な施業であるため新たな補助制度の創設に向けて制度設計を行いたい。

野良猫不妊去勢手術へ補助

問 安全安心な新見市を作るために野良猫を増やさないための対策は考えているか。今問題になっている「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」は近年猫から人への感染が確認されており、野良猫対策が急務と考えるが市としてどういう対応を考えているか。

答 野良猫に対して市民から年間10件ほどの苦情が寄せられている。内容は糞尿に対するものが多い。飼い主のいない猫をなくすため、野良猫を捕獲して不妊去勢手術を受けさせるなど野良猫を増やさない活動に取り組んでいる個人や団体が市内に複数あることは把握している。この不妊去勢手術への補助制度は野良猫対策に有効と考える。しかし動物愛護法の規定もあるので、調査研究の上前向きに検討していきたい。



診察を受ける猫

無所属 志政会

堀江裕



「稼ぐ観光」への転換を

問 本市の観光客数と一人当たり観光消費額の把握状況はどうか。

答 観光客数は主要施設のデータによれば回復傾向にある。消費額の詳細な調査は実施しておらず、正確な数値の把握は困難。今後は近隣市の消費額算出方法なども参考にしつつ、県から提供される観光動態データを活用し、効果測定や施策立案に積極的に反映していきたい。

問 観光客の消費機会不足をどう改善するか。

答 滞在時間の短さや宿泊施設の不足など課題は認識している。消費喚起につながる多

言語対応やキャッシュレス普及を進めながら、提案のあったデジタル周遊チケットなどの導入を調査研究していく。付加価値の高い体験型プログラムの充実などで消費拡大を図り、関係団体と連携しながら観光消費の底上げを進める。

問 車を使わない観光客の回遊性を高める二次交通整備の考えは。

答 デジタル周遊チケット、観光MaaS、日本版ライドシェア等の取組は観光客の利便性向上が見込める効果的な施策と考える。本市の実情と合わせて、国の制度や補助事業も活用ながら調査研究していく。

問 本市公式SNSの戦略をどう構築するか。

答 本年度より広報戦略会議を立ち上げた。魅力を発信する上でSNSの重要性は十分に認識しており、データ分析に基づくデジタルマーケティングを行い観光振興に取り組んでいく。また民間委託なども検討し外国への情報発信などにも取り組んでいきたい。

問 観光を市全体の経済循環・産業連携にどう結びつけるか。

答 観光振興は地域経済の活性化や地域ブランドの強化に加え、市民の誇りにもつながる重要な施策と考えている。インバウンド需要を本市経済にしっかりと取り込み、官民一体となり戦略的に取り組んでいく。

日本共産党
橋本亨子



新見公立大学の用地取得問題徹底究明を

問 公立大学が市長の承認を得ず用地を取得した問題で、監査委員から教育委員会へ6項目の改善措置を求める通知が出されていたが回答の内容

をどう受け止めたか。

代表監査委員答 一つ一つに

回答が欲しかったが、これから調査検討が必要になる点を考慮し、現時点ではこのような回答になるのかと思っている。今後必要と認める場合、監査基準に基づき措置状況の報告を求めることもある。

問 「土地の取得については事務の対応としては極めて不適切である」との回答に至った理由は。

答 事務レベルの調整や協議はなく、本市の明確な同意を確認しないまま売買契約が締結されていたため、極めて不適切であると判断した。剰余金の活用は中期計画で定める使途の範囲内において法人の裁量で財源に充てることが可能で大学の判断で執行された。

問 スクリーニング調査の結果、改善命令が出された場合、対策に係る費用負担は。

答 大学から相談があった場合協議を行いながら適切に対応していく。

問 調査費を市費で補わざるを得なくなったことは損害を

与える行為ではないか。

答 大学との意思疎通ができなかったことが原因で誰に責任があるとかではない。解る範囲で突き止めていただければ結構かと思う。

パートナーシップ・ファミ
リシップ宣誓制度の条例
制定を

問 性の多様性を認め合い、未成年の子供との関係も公的に証明するパートナーシップ・ファミリシップ宣誓制度の創設に向けた進捗状況は。

答 制度の実施要項を完成させ内容を分かりやすく示した手引きを作成し、年度内の運用開始ができるよう準備している。自治体間での相互利用、条例化も検討する。



市民の声

みなさん、こんにちは。「市民の声」コーナーです。担当木下が皆様の元に出向き、インタビュー形式でご意見要望等を伺いました。今回は、50代男性にお話を聞きました。

■「議会だより」の感想は？

- ・たまに家にあるのを見たことがある程度で、ページをパラパラとめくりはするが、あまり真面目に読んだことはない。
- ・紙面は、文字が大きく見やすいと思っていた。これからは、しっかりと読んでいこうと思います。

■市政・議会への要望は？

- ・市民の生活の現状を理解し声を聞き政策に取り組んでほしい。
- ・「高齢者・若者」それぞれ住みやすい街づくり、新見市に住みたいなど人が集まるまちづくりを目指してほしい。

19日 (金)	18日 (木)	17日 (水)	16日 (火)	15日 (月)	12日 (金)	11日 (木)	10日 (水)	9日 (火)	8日 (月)	5日 (金)	12月 4日 (木)	11月 28日 (金)
閉会 本会議	議会運営委員会	委員会（予備日）	議会広報特別委員会	JRローカル線利用促進・ 存続問題検討特別委員会 議会改革特別委員会	予算決算常任委員会	産業建設常任委員会	文教福祉常任委員会	総務消防常任委員会	本会議（予備日）	本会議・一般質問	本会議・一般質問	開会 本会議

12月定例会（予定）

ご意見・ご提案は

新見市議会事務局内
議会広報紙編集係

〒718-8501
新見市新見310-3
電話 0867-72-6151
FAX 0867-72-6183



メール
gikai@city.niimi.lg.jp

気付けば今年も残すところ2カ月余りになりました。市民の皆さまに「議会を身近に感じて読んでいただけるように」という思いで、編集委員のみなんで紙面づくりを工夫しています。今回は一般質問の見出しにインパクトを持たせてみました。

議会は、市民の代表者が集まり、条例や予算の決定、行政の監視などを行う機関です。皆さまの日々の暮らしに直接関わる様々な問題を話し合っています。その様子をしっかりとお伝えできるようにと今後頑張っていきます。

（橋本 亨子）

編集後記